

在宅心身障がい児(者)の療育訓練施設

やすらぎ荘

支援キャンペーン



昭和46年
初代理事長
森繁久彌

やすらぎ荘は、多くの人たちの心あたたまる 浄財によって運営されています。

社会福祉法人夜須高原福祉村(寺崎一雄 理事長・テレビ西日本会長)が運営する福岡県朝倉郡筑前町三箇山字北ヶ谷にある、在宅心身障がい児療育訓練施設「やすらぎ荘」は開館以来47年が経過しました。北海道はじめ関東、関西、四国から脳性マヒ児の訓練に障がい児が心理リハビリテーションに参加、一生懸命自立できるよう訓練に励んでいます。このほか情緒障がい児(自閉症)の訓練参加者も年々増えています。また夜須高原(標高約500m)に同荘が建てられているため空気も良く、緑の木々に囲まれ、障害児にとってのキャンプ地には好条件がそろっています。小児糖尿病、ダウン病、肢体不自由児など年間延べ約10,000人の利用があります。

やすらぎ荘は第二種(第二種)の社会福祉法人で常時障がい児を収容していないため、国からの措置費はありません。多数の方々の心あたたまる浄財によって運営されています。やすらぎ荘の灯を消さないようにと、ご寄付を賜った方たちに厚くお礼を申し上げます。

さらには労働奉仕で、館内外の清掃作業を続ける清掃会社の社員の方々や、実際に「福祉」を体験するために奉仕作業をする人たちなどなど、多くの方たちの善意にやすらぎ荘は支えられています。